

東洋医学通信

耳鳴り

耳鳴りを経験する方は多くいらっしゃいます。耳鳴りとは、「疾患」ではなく、「症状」の一つです。その背景には、難聴を伴った耳疾患が存在するかもしれませんが、まずは耳鼻咽喉科の受診をおすすめします。原因の一つには、心理的要因を持つことも少なくないようです。また、原因が不明なことも多いようです。

耳鳴りの分類としては、自覚的に感じるもの（無難聴性耳鳴・難聴を伴う耳鳴）他覚的に感じる耳鳴（筋性耳鳴・血管性耳鳴・自発生音響放射）に分類されます。

東洋医学の考えでは、大まかに以下のように分類されます。

主症状を見ていただき、その症状によって、其々の経穴でお灸や指圧を試してみてください。

＜発行元＞

阪神中国医学研究所
尼崎市長洲本通1-16-17

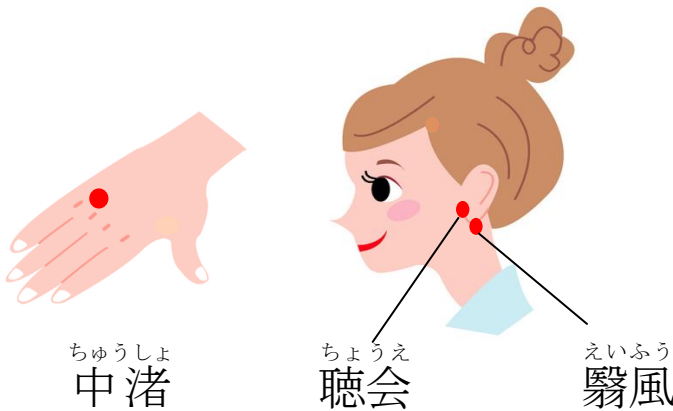
＜連絡先＞

06(6488)8149

また、どのパターンにおいても共通する経穴として「聴会・翳風・中渚」があげられます。

※指圧 ゆっくり押し続けていき、痛み持ちはいいところで5秒程その圧力を保ち、その後 ゆっくりとはなしていきま。ぐっと押し、ぱっとはなすような事はしないでください。返って痛くなる可能性があります。

※お灸 押してみても痛み持ちはいいところか、凹んでいるところにしてみてください。



① 主症状

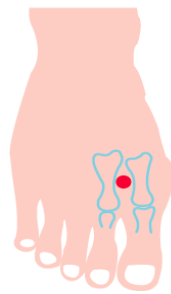
キーンという高音で突発性の耳鳴・難聴、怒ると増悪する。

随伴症状

頭痛、顔が赤い、目赤、口が苦い、心煩、便秘 等

経穴

太衝（たいしゅう）



② 主症状

ヒューヒューゴーゴーという耳鳴、耳内の閉塞感、ひどい時には詰まって音が聞こえない。

随伴症状

めまい、頭重感、胸が悶々とする、痰が多い 等

経穴

劳宮（ろうきゅう）



③ 主症状

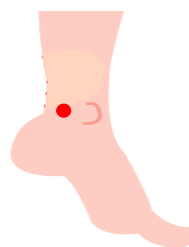
ジーという低音でのセミのような耳鳴、疲労時や夜間に増悪する。

随伴症状

めまい、腰や膝がだるい、不眠 等

経穴

太谿（たいけい）



④ 主症状

耳内が突然空虚になったり、冷えを感じる。疲労時や立ち上がった時に増悪する。

随伴症状

食欲不振、倦怠感、食後の腹張感、泥状便 等

経穴

足三里（あしさんり）



鍼灸師 山中慶子